現代的な諸課題への取り組み

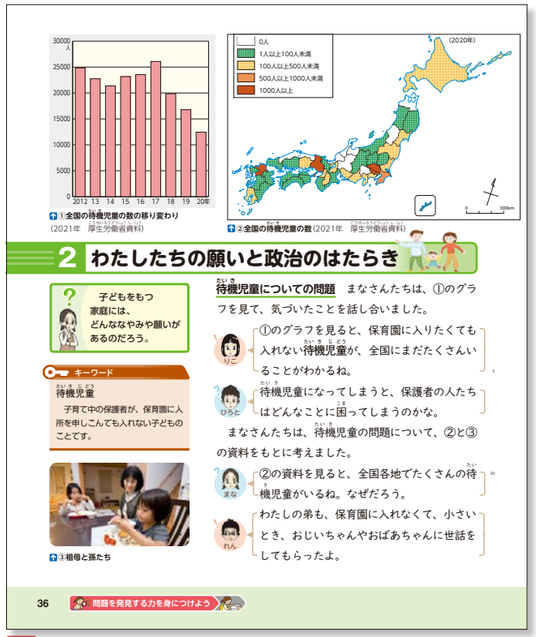
社会の変化に応じた諸課題に取り組むことができるよう、各学年で教材を充実させています。

SDGsとの関連においても、多くの現代的な諸課題に目を向けさせています。

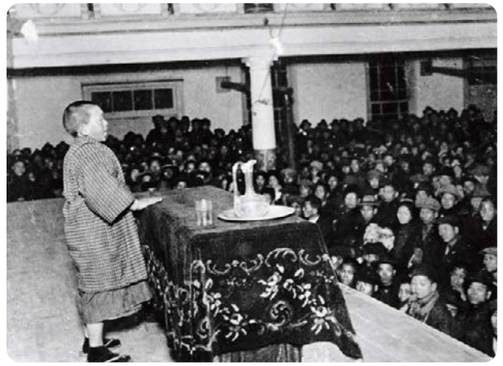
詳しくは本冊20〜25ページへ

人権・福祉

人権尊重を基本理念として、多様性(ダイバーシティ)が尊重され包摂される公正な共生社会をめざす姿勢をたいせつにしています。



6年 P.36



④演説する山田孝野次郎

(1906〜1931年)　1924年の第3回全国水平社大会後の、大阪での演説会のようすです。

6年 P.191

←↑少子化・高齢化をめぐる各地域の取り組みや、部落差別解消のための運動を随所で取り扱い、人権を尊重する社会のあり方について考えられるようにしています。

①倉敷市役所の外国人相談まどロ　2020(令和2)年に開設されました。英語、中国語、ベトナム語を話す相談員がいます。そのほかの言語も、テレビ電話を通じて通訳することで相談することができます。

4年 P.198

←市に住む外国人支援活動などを行い、多文化共生をめざすまちづくりについて身近に考えられるようにしています。

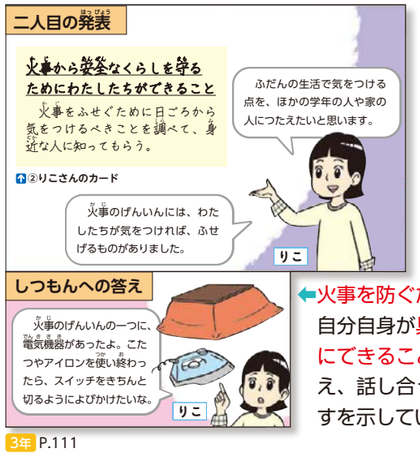
③手だけで運転できる自動車　足が不自由な人でも自動車を運転できるよう、手だけでブレーキやアクセルなどの操作ができる装置があります。ほかにも、車いすに乗ったまま自動車に乗りおりすることができるようデザインされたものもあり、だれもが自動車に乗りやすいくふうがされています。

5年 P.156

➡障がいのある人の姿やユニバーサルデザイン、バリアフリーに関する教材を取り上げ、社会の多様な問題に目を向けられるようにしています。

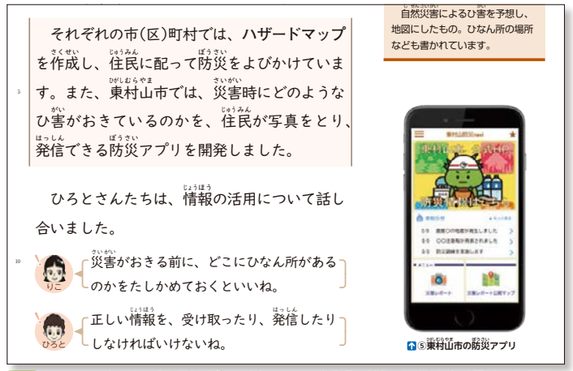
防災・安全

一人ひとりの安全を確保するための知識と能力が向上するよう、学習場面を設けています。



3年 P.111

←火事を防ぐために自分自身が具体的にできることを考え、話し合うようすを示しています。

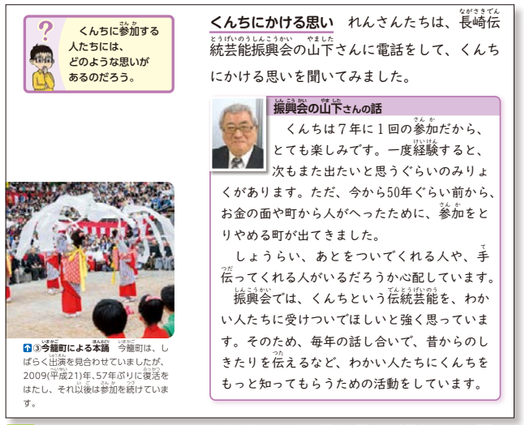


4年 P.91

↑各地域のハザードマップや防災アプリを紹介することで、防災のための情報活用について考える場面を設けています。

伝統・文化

我が国の郷土の伝統や文化を尊重する態度の育成を重視しています。



4年 P.128

↑伝統的な祭りの伝承に取り組む人の思いを紹介し、伝統を守り受け継ぐためにできることを考えられるようにしています。

⑦現在も演じられている能

6年 P.121

↑日本を象徴する優れた伝統芸能について紹介し、今日に至るまで継承されてきたことの意味を考えられるようにしています。

環境問題

自然環境や生活環境について関心をもち、
それらの問題を考えられるようにしています。

②プラスチックごみによるひ害を受けた海の生き物

①海岸をおおう海のごみ

4年 P.32

世界中で課題となっている海洋プラスチックごみについて、単元の導入で紹介し、自然環境への問題意識を高めるようにしています。

5年 P.129

無洗米製造時の水質汚染を防ぐための最先端の取り組みを紹介し、生活における利便性と環境問題など、多面的に考えられるようなコラムを設けています。

コラム　体にも環境にもやさしい米

無洗米は、とがずにそのままたけるので、多くの家庭で喜ばれています。しかし、無洗米をつくるときは、その過程でリンをふくんだとぎ汁が出ます。リンは、下水処理場でも取りのぞくのがむずかしく、水質汚染につながります。

そこで、とぎ汁を出さずに無洗米をつくる装置が開発されています。栄養分とうまみもそのまま残るので、環境だけでなく、健康にもよいと世界からも注目されています。

⑤リンを出さずに無洗米をつくる装置(和歌山市)

情報・技術

Society5.0の実現に向け、多種多様な情報を集め、効果的に活用することができる知識・技能の育成につながる教材を充実させています。

③ひろさき便利まっぷ　赤い矢印は、車両が除雪した場所をしめします。

4年 P.116

技術革新による社会問題の解決に目を向けさせています。

③人が乗る必要のないトラクター(上)と、ドローンによる薬の散布(下)

5年 P.130

学び方・調べ方コーナー

見る・調べる

オンラインでのインタビューのしかた

- 先生にお願いをして、デジタル機器の準備をしてもらう。
- 調べたいことや質問したいことをまとめておく。
- 質問をするときは、カメラとマイクに向かってはっきりと話す。
- わからないことがあれば、まとめて質問をする。

5年 P.84

インターネットを活用した調べ方を示すことで、情報活用能力が着実に養えるようにしています。

平和・国際

我が国や郷土を愛する態度の育成を重視するとともに、
他国の文化へ興味をもたせる教材を充実させています。

⑥書道体験のようす

4年 P.195

地域で行われている留学生との文化交流から、東京2020オリンピック・パラリンピックや2025年日本国際博覧会まで、さまざまな形の国際交流を取り上げることで、国際理解・親善に関心をもてるようにしています。また、世界情勢についての最新図版を掲載しています。

②2025年日本国際博覧会(大阪府)(イメージ)

5年 P.190

③東京2020パラリンピック大会でのボランティアの活動のようす(2021年、

6年 P.254

6年 P.227

⑥ロシア軍の攻撃でこわれた建物の中を歩く人(2022年、ウクライナ)

健康・消費者

健康的な生活や、生産・消費活動について興味・関心を高めることができるよう、教材を充実させています。

②マスクやうがいを呼びかけるポスター(1920年)　スペイン風邪が流行したころ、30000枚が印刷され、全国に配られました。

6年 P.192

人類が繰り返し感染症を経験してきた歴史を紹介することで、公衆衛生の発展について捉え、近年の新型コロナウイルス感染症と社会のあり方についても考えられるようにしています。

工場ではたらいている人びとは、どのようなようすなのだろう。

はたらく人のようす　れんさんたちは、工場ではたらく人のようすについて、気になることを工場の人にたずねました。

なぜ、作業をしていた人たちは、白い服を着て、ぼうしやマスク、手ぶくろをしているのですか？

①強い風でほこりを落とす

白い服を着ているのは、よごれたらすぐにわかるようにするためです。食べ物をつくる仕事なので、せいけつさをたもつよう気をつけています。

けんさや、できあがったかまぼこをほうそうするときに手ぶくろをしているのも、同じ理由からです。ちょくせつせい品にさわらないようにしています。

ほかにも、毎日の体調をきびしくチェックし、手あらい、しょうどくなど、えいせいにも気を配っています。

工場ではたらく山本さん

3年 P.52

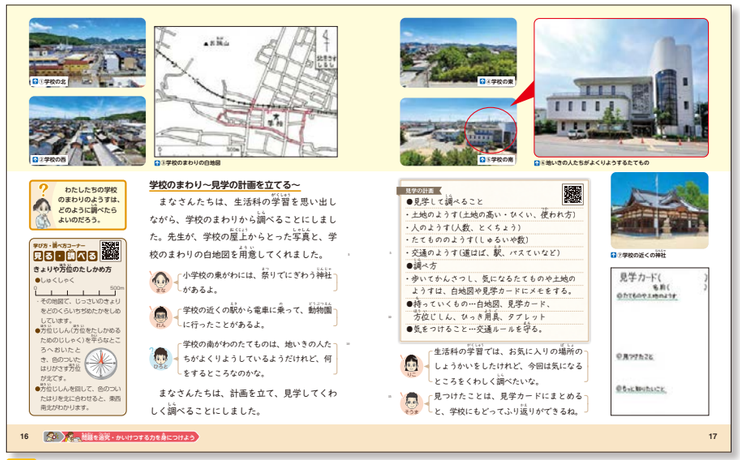
工場などの生産の仕事において、商品の品質を担保するための取り組みがなされていることをおさえています。

他教科・他校種との連携

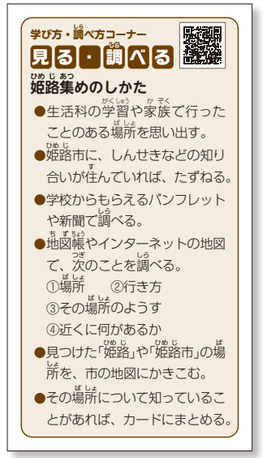
他教科や他校種との連携をはかり、カリキュラム・マネジメントにも役だつさまざまな紙面をもうけています。

生活科との関連

初めての社会科学習について、これまでの生活科の学習から無理なく移行できるよう、本文に生活科の学習を想起できるくふうをしています。



3年 P.16-17



3年 P.11

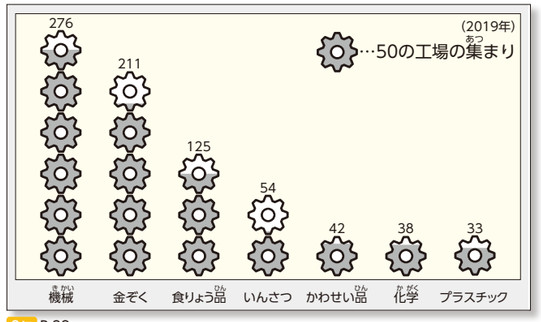
国語科との関連

国語科で重視される「話すこと・聞くこと」「書くこと」に関する活動を積極的に取り入れ、成果物も例示しています。

4年 P.70-71

算数科との関連

学年の発達の段階に応じたグラフを掲載しました。



3年 P.33

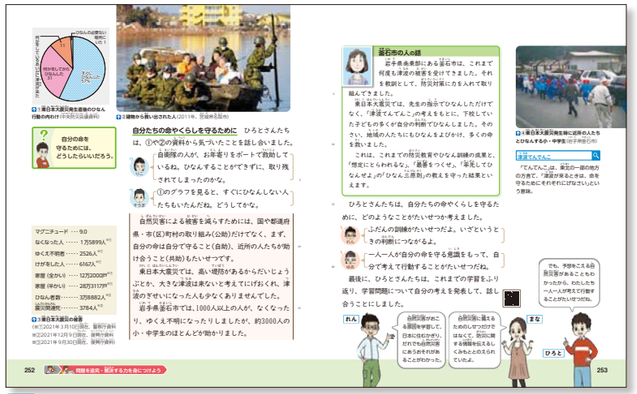
↑棒グラフが未習でも読み取ることができるよう、3年の最初の単元では、絵グラフで示しています。

道徳科との関連

道徳的諸価値と対応する教材を重点的に取り扱っています。

3年 P.98

↑店で働く人や消防署の人たちなど、働く人たちから直接話を聞く活動を取り入れています。働くことの意義や社会に奉仕することの喜びを子どもたちに体得させることを通して、法や決まりを守り、公共の精神の育成に資するようくふうしています。



5年 P.252-253

↑自然災害を扱う単元では、地域の復興と、それに取り組む人々の活動を重点的に取り扱っています。郷土への愛情を育むとともに、子ども自身の公共の精神の育成を図ろうとしました。

外国語（活動）との関連

6年 P.252

世界にある国々の生活やようすなどについて、興味をもって学習できる内容を設定しています。

小中連携

6年生の巻末で、中学校社会科は、地理、歴史、公民の各分野に分かれることを示し、中学生になる自分へのメッセージを書くことで、希望を高めるくふうをしています。

6年 P.278-279